# 名所物見の旅 ー 其の四拾参 ロスカボス

文・写真：河辺雄二、CFAY広報課

上空から眺めるバハ・カリフォルニアは、荒涼とした沙漠が延々と広がる不毛の大地だった。サボテンと灌木ぐらいしか生えない茶褐色の土地には点々と小さな集落が見えるが、作り物のオモチャのセットのようで、人間活動の気配はまるで感じられない。沙漠の中を蛇行する河のように幹線道路が走っていて、その侘しい田舎町といった集落同士をつないでいる。見渡す限り続く沙漠の先には緑を含んだ岩の山脈が見え、どうやらその向こうがカリフォルニア半島の先端部のようだ。やがて飛行機は山脈に向かって徐々に高度を下げ始めた。

バハ・カリフォルニアからカリフォルニア半島先端までの路線バスの旅が面白かったという話を知人から聞いて興味をそそられていたが、時間も気力もない私は飛行機からカリフォルニア半島を眺めるだけにして、先端のロスカボスまで一気に飛んでしまった。ロスカボスはいまやアカプルコやカンクンに次ぐメキシコ有数のビーチリゾートとして売出し中で、リゾートホテルが建ち並び、フィッシングからダイビングまで各種マリンレジャーが目白押しで楽しみは尽きない。

まずはロスカボスの港からカリフォルニア半島最先端サンルーカス岬に行くことにする。岬行きの船には大勢の観光客が乗り込み、港内に碇泊しているたくさんのヨットやフィッシングボートの間を縫って出航した。海は波穏やかで太陽の光がキラキラと反射している。さすがにメキシコまで来ると、三月だというのに日差しは非常に強く感じる。

岬の先端に近づくと、尖った特徴のある岩が並んでいる。紺碧の空にそそり立つ奇岩、そしてコバルトブルーの海。この風景に出会えただけでも、来た甲斐があったというものだ。皆が指さす方に目をやると、岩場の上にたくさんのアシカが昼寝しているのが見える。さっそくカメラを向けてみるが、180ミリの望遠レンズではとても足らない。船は先端部の岩場を廻ってから小さなビーチに停泊し、観光客は全員上陸して二時間の自由時間となった。このビーチの反対側、要するに半島の西側にも大きなビーチが広がっていて、こちらは太平洋に面しているせいか、東側と違って非常に波が荒く、まるでオアフ島のノースショアのような高波が押し寄せてくる。ガイドの説明によるとカリフォルニア湾側のコルテス海のほうが“ラバーズ・ビーチ”、太平洋側が“ディボース・ビーチ”と命名されているそうだ。美しいビーチにはなんの人工物もなく、自然そのままなのがうれしい。シュノーケルなどのスキンダイビングの道具を借りてきたので、ラバーズビーチで潜ってみたが、白い岩に囲まれた美しい海はとても気持ちがよい。いっぽう広大な太平洋側は高波のせいで海に入るのは不可能だ。ちなみにこの大海の東四千キロの海上にハワイ諸島があり、このディボースビーチから日本までは一万キロの遥か彼方ということになる。

サンルーカス岬から戻って港町を歩くと、ペリカンがやたらに目につく。むくむくと太った体をゆすりながら波止場を闊歩している姿は、とてもユーモラスだ。通りには釣り道具屋があちこちにあって、大物狙いを目的に訪れている釣り客も多いようだ。広い太平洋に船出してのカジキ釣り。こうした技術や肉体労働を必要とする余暇の過ごし方も悪くないだろう。ホテルのプールサイドでのんびりとリゾートライフを楽しむなんていうのは苦手だというようなタイプの人には、フィッシングクルーズはもってこいに違いない。町角に日本人がいたので話しかけてみると、彼は寿司職人としてこの地に来ているのだという。どうしても海外で働きたくて、寿司職人になったそうだ。お昼にどうですかと誘われたが、せっかくここまで来たのだから、メキシコ料理を楽しみたい。丁重にお断りした。

さて今回は、私にはやや不釣合いな高級リゾートホテルに泊まった。プライベートビーチに建てられたこのホテルは、早朝の光の中で美しく輝き、前面の海と背後の岩山がとてもマッチしていた。沙漠気候のせいか昼間のプールサイドでも日陰に入ると涼しく、夜など潮風にあたるとTシャツ一枚では寒いくらいだ。印象深かったのは予約制レストランでの夕食で、ソンブレロを被った四人組が現れてギター片手にそれぞれのテーブルで歌を披露してくれた。メキシコの風土から生まれた独特のメロディーと異国情緒溢れる歌声は、いつまでも耳に残る素晴らしいものだった。

このホテルは港から離れた場所にあるので、気軽に出かけて町の中をカメラ片手にほっつき歩くことは出来なかったが、喧騒から離れてのんびりとリゾートライフを満喫するには最高だった。

映画“猿の惑星”のロケ地となったサン・ルーカス岬のラバーズビーチ。この海岸で撮影されたラストシーンで、チャールトン・ヘストン扮する宇宙飛行士は、半分砂に埋まった自由の女神と対面した。

ウェスティンレジーナホテル。外観が特徴ある設計のおしゃれなホテルで、リゾートライフを楽しみたい向きにはお薦め。

ロスカボスの港。レンガや石積みで建てられた建造物と低い灌木しか生えない岩山が、メキシコ特有の乾いた風景を造り出している。

## ゲート閉鎖に関するお知らせ

5月12日（火）、5月21日（木）、全日とも午前8時から正午まで警備訓練及びその予備訓練のため、正門車両ゲート及び正門歩行者用ゲートが全面的に閉鎖されます。車両についてはウォンブルゲートを利用していただくようお願い致します。

歩行者及び自転車利用者は、5月12日については歩道橋ボードウオーク側歩行者用ゲートは利用可能ですが、5月21日の本訓練時には全面閉鎖となりますので、ウォンブルゲートを利用していただくようお願い致します。